

自然教育園見ごろ情報

2026年2月5日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

セツブンソウが
咲きました！



フクジュソウ

福寿草（ふくじゅそう）の名前は、旧暦の正月ごろに咲くため、新年を祝うめでたい花としてつけられました。春にだけ地上に顔を出す春植物のひとつで、地上部はやがて枯れてしまいます。



ユキワリイチゲ

小さな紫色の花が咲きはじめました。葉は、野菜のミツバ（セリ科）によく似ています。名前の「一華（いちげ）」はイチリンソウ（別名イチゲソウ）の仲間であることによります。



ヤマガラ

お腹は褐色。喉の黒い部分は三角形です。エゴノキの実を好んで食べます。あまり人を恐れず、地面に降りて木の実を拾い、枝の上で食べています。



セツブンソウ

「節分の頃咲く」ことが名前の由来。山地の樹林に生えます。園芸目的の乱獲で激減し、環境省のレッドリストでは、「準絶滅危惧種」に指定されています。



フキノトウ(フキのつぼみ)

春の訪れを告げる「ふきのとう」が顔を出しました！フキの「花がつく茎（花茎）」にあたり、山菜としてもおなじみです。



★園内での動植物の採集は禁止です。大切に見守ってください。



スギナ(つくし)

つくしは、スギナの胞子茎（胞子をつけるための茎）で、春の風物詩としておなじみです。食用にもされます。小さくて見つけにくいため、是非探してみてください。



ヒメガマ(実)

ソーセージのような穂が崩れ、綿毛のついたたくさんの果実が姿を見せています。強い風が吹くと、綿毛と果実が飛びだします。



ムクロジ(実)

実の中に入っている黒い種子は、羽根突きの羽の球や数珠に利用されます。また、果皮は界面活性作用がある「サポニン」を大量に含み、昔は石鹼の代用とされました。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園